

第五福竜丸展示館で 核なき未来を考える

1954年3月1日、アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁で行った水爆実験で、日本の木造マグロ漁船が「死の灰」を浴びました。この実験は、広島原爆の1千倍という威力があり、第五福竜丸をはじめとしたたくさんの漁船や地域住民が被ばくしました。このビキニ事件はのちにノーベル平和賞を受賞する日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)設立のきっかけとなりました。

【定員 10名】



2025年**11月15日(土)**

10時20分集合 「新木場駅」駅 改札を出たところ

参加費:2,500円 ※昼食代込み。当日集金。

江東区夢の島にある第五福竜丸展示館(上)
と、館内に保存・展示されている漁船(下)



【当日の行程(予定)】

新木場駅～都立第五福竜丸展示館(解説・見学1時間)～東京スポーツ文化会館に移動(お昼)～解散

●お申し込み・連絡先

お申し込みはお電話かメールにて、

① お名前 ② お電話番号
をお知らせください。



特定非営利活動法人 大人の学校

333-0857 川口市小谷場 206 生活クラブ生協内
TEL/FAX 048-423-3313
メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp